

## 「北欧のランプシェード」 (2012. 3. 4)

Kさんの家の照明器具、完成間際まで迷ったリビングのペンダントを候補として3点 挙げ、施主と相談しレクリント NO. 047 を使うことに決めました。



レクリント



Kさんの家

このメーカーの照明器具は、我が家で 30 年ほど前から使用しています。

そのころ、北欧のデザイン製品にあこがれてウェグナーの椅子やダンスクやイッタラの食器、そしてマリメッコのクロスやアーリッカの木の玩具などを購入した時期がある。



マリメッコ生地（HP より）

これらは今でも健在で、その一つ、デンマーク製のランプシェード（レクリント社）は我が室内を明るくしてくれている。

見かけは薄く白いプラスチックシートできしゃそうに出来ているが、なかなか丈夫なのだ。

掃除の際、時々ほこりを払ったり汚れが目だってくると中性洗剤を付け、水を掛けたりしてかなり乱暴に扱って洗っているが、特に破損もしていない。



アーリッカ：木のおもちゃ

こんなに丈夫で長持ちしてはメーカーは採算が合わないのではないかと老婆心ながら心配してしまう。

今、私たちの身の回りは物が大量に溢れているが、そのモノは泡沫のように消えていってしまう製品が多い。しかし、北欧のモノづくりは良い製品を生み出し、それを息長く育てていくスタンスのようだ。

かの国々は小国ながら地道な生き方ができている。世界を相手にグローバルな活動を展開しているのは今も変わらない。 end